

# ことばだより

巻頭随筆	言葉にすると消えていく	魚住直子	▷▷▷ 02	
国語	特集	全ての教育活動で行う「スタートカリキュラム」 ～国語科と生活科の視点から～	根本裕美	▷▷▷ 03
	実践レポート	「学習者にとって必要感のある振り返り」とは	土屋晴裕	▷▷▷ 08
書写		「UDフォント」と伝わるレイアウト術	高田裕美	▷▷▷ 12



## 言葉にすると

### 消えていく

魚住 直子（作家）

悲しい気持ちやつらい体験を言葉にして表すと、気持ち整理され、軽減されると聞いたのはずいぶん昔のことだ。その時、私はなるほどと思う一方で、言葉にすることでラベリングされ強化されることもあるのでは、と少し疑った。でも二十年以上細々と本を書いているなかで、書くとき確かに気持ちは薄まると感じる。

フィクションを書いている。でも物語を書きかけは自分の体験や強い思いだ。一九九六年のデビュー作『非・バランス』もそうだった。はじめを受けたことから友達はもう作らないと決めた少女が、アパレル会社に勤めている若い女性と知り合い、仲良くなるうちに前に進めるようになるというような話だ。主人公と作者を重ね、「はじめられた経験があるんですね。」と当時言われたがそうではなく（でも子どもの時、はじめは怖かった。いつも意識していた）、若い女性のほうが自分の分身のつもりだった。こぎれいな服に身を包み、いかにも働く女性ふうだが実際は仕事ができず、そんな自分を棚にあげて社会を恨んでいる人間だ。でも言葉に表したことで、自分のうらぶれた気分がかなり軽くなったらしいと気がついたのは本が出てしばらくたった時だ。

教育出版の教科書に書かせてもらった『いつか、

大切なところ』もそうだ。小六の時、私は転校前の町に行き、仲よしの友達に会った。引越したのは一か月ちょっと前だったが、その僅かな間に自分の知らない状況になっていて、寂しくてたまらなかった。その寂しさは何十年も大人になってからもずっと心にはりついていて、『いつか、大切なところ』を書き終わってしばらくすると薄まっていることに気がついた。

つらかった気持ちが薄まるのはよいことだろう。でも何度も実感すると残念になってきた。無様な自分も、寂しかった気持ちも、自分の一部だ。薄まると自分が消えていく気がした。だからこの頃、強く感じた気持ちを書く時、少し慎重になる。

ひとつ、書かずにとっている気持ちがある。まだ本を出す前、ある会社で事務のアルバイトをしていた。穏やかな職場だったが、私は人間関係の煩わしさを警戒し、あまり自己開示しないようにしながら常に笑顔で働いた。帰りの電車を降り、家の近所の歩道橋を上る頃、くたびれて口角が下がり、むなしくなった。夕焼け空に誘われ涙がにじむこともあった。五年後そこを辞めることにし

た時、ほとんど話したことの無い社員が「あなたがいつも楽しそうに働いてくれるから心地よかったです。辞めてしまおうのがとても残念です。」と言ってくれた。私は自分の偏狭さが恥ずかしくなりながら、それでも笑顔で働いてよかったとうれしくなるはずだった。でも違った。恥ずかしくもうれしくも全くない。「とんでもない、こちらこそありがとございました。」といつもの笑顔で頭を下げた。

その日の帰り、むなしくて涙ぐんでいた自分をいぶかしんだ。やがて気がついた。私は人を警戒しているんじゃない、諦めたうえに開き直っているのだ。そして、たまたま感傷的になって柔らかさを取り戻した気になっている。浅い自分にぞっとした。でもぞっとする気持ちもまたうそな気がして、鏡の中の鏡を見るようにで途方にくれた。これがずっととっている大切な気持ちだ。言葉にして表したからいつか薄まり、そのうち消えていくだろうか。

うおずみ なおこ

一九六六年生まれ。



『非・バランス』（講談社一九九六年）で第三十六回講談社児童文学新人賞、『Two Tainsーとーとれいんず』（学習研究社、二〇〇七年）で第五十七回小学館児童出版文化賞、『園芸少年』（講談社二〇〇九年）で第五十回日本児童文学者協会賞を受賞。

全ての教育活動で行う「スタートカリキュラム」

「国語科と生活科の視点から」

東京都練馬区立光和小学校

指導教諭

根本裕美  
ねもとひろみ



生活科において高い専門性と優れた指導力をもち、模範授業などを行い、生活科の指導技術を自校や他校の教員に普及させている。

そもそも「スタートカリキュラム」とは

四月。「入学おめでとう。」の言葉に、満面の笑顔で入学してくる一年生。小さな体に夢をいっぱい詰め込んでいるように見えます。しかし、本当に彼らの心は喜びだけでしょうか。学校に少し慣れた六月頃にアンケートをしたところ、「心配があった」「少し心配があった」と答えた児童は、「心配がなかった」と答えた児童の倍近くいました。「勉強は難しいのか」「先生が怖くないか」「給食が食べられるか」「友達はできるか」「一人で登下校ができるか」などの多様な心配を抱えていたのです。この数年一年生の担任をしています。どの年も同じ傾向にあります。つまり、入学は大人が思う以上に、児童にとって「心配」なものなのです。このような入学当初の児童の実態に合わせて小学校が用意するカリキュラムのことを「スタートカリキュラム」と呼びます。

新しい教育課程における「スタートカリキュラム」

スタートカリキュラムという用語は『小学校学習指導要領解説生活編』（平成二十年八月告示）で登場し、『スタートカリキュラム スタートブック』（平成二十七年一月 国立教育政策研究所）において次のように規定されました。  
「小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム」

これまでの段階では、生活科だけの用語として捉えられてきました。しかし、平成二十九年三月告示の『小学校学習指導要領』（第一章 総則 第2・4 学校段階等間の接続）に、次のように示されました。

「教科等間の関連を積極的に図り（中略）特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと」

また、国語科（第3 指導計画の作成と内容の取扱い ①(7)）などの全教科に同様の文言が記されました。つまり、令和二年四月からの新教育課程では、入学当初の全ての教育活動においてスタートカリキュラムを行うものとされたのです。

では、実際にどのように行えばよいのでしょうか。ここでは、数年前から実施しているA小学校の事例を紹介します。スタートカリキュラムに取り組んでいる学校では、一般的に、時間割を「タイム」と呼んでいます。A小学校では、

- ・ のんびりタイム…始業前の支度のあと、自由に過ごす朝の時間
- ・ なかよしタイム…人間関係を築く時間

（『幼稚園教育要領』五領域とつなげる）

- ・ わくわくタイム…生活科を中心として合科的・関連的な指導を行う時間
  - ・ ぐんぐんタイム…各教科等を中心とした時間
- とし、入学当初は「なかよしタイム」を主とし、徐々に「ぐんぐんタイム」へと移行します。

# A小学校の1か月間の「スタートカリキュラム」例

(A小では水曜日が5時間時程)

## ①第1週

**【ねらい】** 学校や学校生活への安心感をもち、先生や友達と仲よく関われるようにする。

学校の施設の様子や生活のリズムを知り、安心して遊びや生活ができる。

新しい友達の顔や名前を覚え、楽しく関わることができる。

支度の仕方、机やロッカーの使い方などを知り行うことができる。

余剰：教育課程外の内容。A小ではスタートカリキュラムとして12時間程度の余剰をとり、教科目標にはそぐわないが、人間関係づくりのように大切なことを行っている。

「なかよしタイム」：A小では入学前の教育との関連を図り、幼稚園教育要領の5領域とつないで構成している。

※余剰カウント4½時間

入学式後の教室での歌遊びや、入学式の感想、小学校でやってみたいことなどを児童から聞き取る。  
入学式後に保護者へスタートカリキュラムの概略を伝えるとともに理解と協力を仰ぐ。

	1年生に関わる予定	朝	1時間め	2時間め	3時間め	4時間め
1日め	入学式				入学式 行事Ⅰ½	おめでとう 学級活動
2日め	定期検診 初登校 指導日	朝の支度の仕方を 知る	<b>な</b> 【表現】 ※歌遊び・歌のリクエスト ※名前と幼稚園・保育所を紹介する  余剰カウントⅠ	<b>わ</b> 「教科書」という名称を知り、楽しく見たり話したりする自己紹介をし、皆で遊ぶ  生活：あ、あれ、わくわくがいっぱい	<b>わ</b> 教科書を見てやってみたいことを話す 校舎内を散歩する  生活：きょうからいねんせい	帰りの支度 下校の仕方  学級活動(2)
3日め	発育測定 腎臓検診 5時間時程 (午前)	<b>な</b> 【言語】【人間関係】 ※挨拶リレー リズムで名前呼び  余剰カウントⅠ	発育測定  行事Ⅰ	<b>ぐ</b> 集団行動と固定施設を使つての運動遊び  体育：固定遊具で遊ぼう	<b>ぐ</b> 教科書を見る 場面に合わせた挨拶の練習  国語：たのしいいちにち	初めての給食 栄養士さんのお話  学級活動(2)
4日め	対面式	朝の支度 対面式  余剰カウントⅠ	<b>な</b> 【言語】【人間関係】 ※挨拶リレー ※同じ誕生日などで仲間づくり	<b>わ</b> 今日やってみたい学習について発表する 校舎内を散歩する 上級生の生活の様子を見る  生活：きょうからいねんせい	<b>ぐ</b> 教科書を見る (挨拶の練習 鉛筆の持ち方) 名前を書く (初めての名前)  国語：たのしいいちにち わたしのなまえ	楽しみだね、給食 給食の準備の仕方  学級活動(2)
5日め	避難訓練 (2校時) 給食開始	<b>の</b>	<b>な</b> 【健康】【言語】 ※遊び ※食べ物の話の読み聞かせ  余剰カウントⅠ	安全な学校生活 避難訓練の仕方  学級活動(2)	避難訓練  行事Ⅰ½	<b>ぐ</b> クレヨンの使い方を 知り、自分の好きなもの や伝えたいことを描く  図工：すきなものなあに  鉛筆の持ち方 名前を書く  国語：かいてみよう  給食準備  余剰カウントⅠ½

**の** …のんびりタイム   **な** …なかよしタイム   **わ** …わくわくタイム   **ぐ** …ぐんぐんタイム

### 2日め **な**かよしタイムの活動例

- 歌遊び：初めは一人、二人でできるものを行う
- 挨拶リレー  
・「○○さん⇒はあい⇒手拍子」を、リズムよく繰り返して、児童が相互指名する。
- 遊び：少しずつ全員でできるものへ

### 2日め **わ**くわくタイムの活動例

- 生活科 きょうからいねんせい  
・入学前の経験を問い、探検の約束を確かめる。名前を教え合う、教え合ったら握手をする、互いの「なかよしカード」にサインをし合うなど楽しい活動につなげる。



②第2週

【ねらい】自分でできることを見つける。学校生活のリズムに慣れ、新しいことを楽しむ。

学校の施設の様子や生活のリズムに慣れ、自分でできることは自分で行う。

学校の施設や、学校にいる人（職員・上級生など）に関心をもち、すすんで関わることができる。

教科等学習に興味をもち、すすんでやってみようとする。



※余剰カウント3½時間

	1年生に関わる予定	朝	1時間め	2時間め	3時間め	4時間め
6日め	保護者会 学年朝会 安全指導	学年朝会	【言語】 ・挨拶リレー ・しりとり  余剰カウント1	今日やってみたい学習について発表する 校舎内を散歩する 上級生の生活の様子を見る  生活：きょうから1ねんせい	幼稚園、保育所で好きだった歌を歌う みんなで楽しく歌う  音楽	なかまをつくろう  給食準備  算数 余剰カウント½
7日め	歯科検診 個人面談1	の	【言語】 ・読み聞かせ ・しりとり  みんなで歌おう 1年生を迎える会の練習	平仮名の練習  歯科検診	学校探検1 校庭の探検をする。 見つけたものをミニカードに書く	絵を見て同じ条件の集合に着目する  算数： なかまをつくろう
8日め	視力検査 5時間時程（午前）	な 【人間関係】	1年生を迎える会の練習  名刺カードを作って交換する 平仮名の練習	色々な場面の話し方・尋ね方を練習する  視力検査	学校探検2 1階の探検をする 見つけたものをミニカードに書く	集団行動と体つくりの運動遊び  給食準備  体育： 体つくりの運動 余剰カウント½
		余剰カウント1	音楽½	国語：わたしのなまえ  国語	行事½	生活：わくわくどきどきしょうがっこう
9日め	心臓検診 個人面談2	の	1年生を迎える会の練習  心臓検診	いろいろな場面の話し方・尋ね方を練習する 平仮名の練習	10まで数える練習をする 数字の練習 1対1の対応	算数：くらべよう
		余剰カウント½	音楽	行事1	国語：こえのおおきさどれくらい	
10日め	1年生を迎える会 腎臓検診（予備日）	の	余剰カウント½  道徳	学校探検3 2階の探検をする。 見つけたものをミニカードに書く  生活：わくわくどきどきしょうがっこう	1年生を迎える会  行事1	声の大きさを確かめる 平仮名の練習  国語：こえのおおきさどれくらい

7日め わくわくタイムの活動例

- 生活科 わくわくどきどきしょうがっこう
  - ・桜の花びらが舞う、おたまじゃくしなどが見られる、春風が吹くなどよい機会を捉えてミニカードを書くよう促す。
  - ・入学前の経験を問い、探検の約束を確かめる。
  - ・初めは全員で回り、経験させたいこと（桜の花びらで遊ぶ、生きものを見る、職員と関わるなど）を行い、その後に自由に探検を促す。

9日め めんぐんタイムの活動例

- 教科の関連を図る
  - ・教科で学んだことを生活科で生かす。
  - 国語：挨拶や自己紹介の仕方、話し方や尋ね方自分の名前を書く。
  - 算数：10までの数を数える。集合数。



③第3週

【ねらい】自分でできることを増やす。学校生活のリズムに慣れ、新しいことを楽しむ。

学校の施設の様子や生活のリズムに慣れ、自分でできることは自分で行う。

学校の施設や、学校にいる人（職員・上級生など）に関心をもち、すすんで関わるができる。

教科等学習に興味をもち、すすんでやってみようとする。

※余剰カウント1½時間

	1年生に関わる予定	朝	1時間め		2時間め		3時間め		4時間め	
11日め	学年朝会 個人面談3		な 【人間関係】 ※挨拶リレー、仲間づくり	く 今週やってみたいことを話す	わ 学校探検4 3階の探検をする。 見つけたものをミニカードに書く		く 学校図書館の使い方を 知り、楽しく本を読む 平仮名の練習		く 数字の練習 1対1の対応	給食準備
			余剰カウント½	国語	生活：わくわくどきどきしょうがっこう		国語：おはなしたくさんききたいな		算数：10までの数	余剰カウント½
12日め		の	く 友達と歌遊びをしたり、体を動かしたりして楽しく遊ぶ	わ 名刺作り 場に応じた尋ね方 平仮名の練習	く 名刺作り 場に応じた尋ね方 平仮名の練習		く 体のバランスをとる 体づくり運動（体ほぐし）をする		く 数字の練習 1対1の対応	
			音楽：うたでなかよし	国語：かいてみよう	体育：体づくりの運動		算数：10までの数			
13日め	5時間時程 (午前)	く	ことばあつめ うたにあわせてあいうえお	わ 学校探検5 関心をもったところを探検する 見つけたものをミニカードに書く	く 校庭に行き、見つけたものを並べたり集めたりして友達と見せ合う	く 数字の練習 1対1の対応	く 図工で集めたものを数える	く 平仮名の練習		給食準備
			国語：こえをあわせてあいうえお	生活：わくわくどきどきしょうがっこう	図工：みてみてみつけたよ		算数：10までの数	国語	余剰カウント½	
14日め	集会 内科検診 個人面談4	の	く ことばあつめ 平仮名練習 うたにあわせてあいうえお	わ この後の探検ではどんなことをしたいのか考えたり話し合ったりする		く 数字の練習 1対1の対応		く 集団行動と体づくりの運動遊び 固定施設を使つての運動遊び		
			国語：こえをあわせてあいうえお	生活：わくわくどきどきしょうがっこう		算数：10までの数		体育		
15日め	聴力検査 個人面談5	の	く 平仮名練習 うたにあわせてあいうえお	わ 自分（グループ）の行きたいところへ行き、挨拶をしたり探検をさせてもらったりする		く あかるいあいさつ		く 歌遊びをしたり、体を動かしたりして楽しく歌う		1週間の振り返り
			国語：こえをあわせてあいうえお	行事½	生活：わくわくどきどきしょうがっこう		道徳	音楽		学級活動

の …のんびりタイム    な …なかよしタイム    わ …わくわくタイム    く …ぐんぐんタイム

16日め以降は子どもの姿をよく見て、必要に応じ「なかよしタイム」を設定する。内容は、「人間関係づくり」と、元気づくり（朝）、給食の準備（4校時）など。連休後も留意する。



「なかよしタイム」で人間関係づくり  
 ～コミュニケーションを図る～

「のんびりタイム」（朝の支度後に絵画や読書、おしゃべりなどで楽しむ時間）は、登園後の自由保育の時間をイメージしています。始業前に短時間、自由に遊んで緊張をほぐすのがねらいです。この時間につながる「なかよしタイム」は人間関係を築き、学校を「安心できる居場所」にするための時間です。入学前に楽しんでいた歌遊びなどをし、初めは先生と児童、慣れてきたら教えてくれる児童を募り、教えたり教わったりしながら人間関係を築いていきます。また、絵本の読み聞かせやしりとり、見つけたものを話すなど、言葉でのコミュニケーションを楽しみます。先生と児童、児童どうしを結びつける時間でもあります。言語を紹介することが中心となる小学校の学習への「橋渡し」でもあり、国語科の内容とつながるものも少なくありません。

「わくわくタイム」で生活科と国語科との関連を図る

「わくわくタイム」で生活科と国語科との関連を図る

心や体がほぐれたら、「わくわくタイム」です。入学した学校のことを「知りたい！ 見に行きたい！」という自然な願いから生活科の学校探検が始まります。何かを発見すると、それを伝えたくくなります。そこで探検後、発見を伝え合う時間やカードに書く時間を短時間設定します。教師は児童の「伝えたい」気持ちを重視するとともに、「互いの話に関心をもつ」「話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさな



のねらいをおさえます。また、学校探検では教職員と挨拶や会話をするこ  
 とが増えます。その機を逃さず『わたしのなまえ』や『かいてみよう』で  
 名刺カードに名前を書くことをとおして、鉛筆の持ち方や姿勢を指導した  
 り、『たのしい いちにち』で入室や質問をするときの言葉の使い方を指導  
 したりします。児童の意欲にそいながら、国語科と生活科を関連させて合  
 科的なカリキュラムを組むのです。

「ぐんぐんタイム」で国語科のいきいきした学びを！

スタートカリキュラムも後半、学級の人間関係ができる頃に少しずつ「ぐ  
 んぐんタイム」を増やします。ねらいを「言葉を楽しんだり、想像を広げ  
 たりして読む」とした詩の学習では、児童から「好きなフレーズで立って  
 読みたい」という願いが出ました。そこで立ったり座ったりしながら、自  
 分の好きなフレーズを大きな声で言ったり、友達の好きなフレーズと比べ  
 て聞いたりして楽しく真剣に学習しました。スタートカリキュラムで人間  
 関係を培い、自分の思いを安心して伝えてよいことを体得した児童によつ  
 て、いきいきした国語科の学習になりました。

終わりに

保護者アンケートに「スタートカリキュラムは」とてもよい。不安や心  
 配がある硬い心だとどんな勉強もどんな経験も吸収するものが少ないはず。  
 安心したやわらかい心だとたくさん吸収できるはず。とあり  
 ました。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（『幼稚園教育要領』平成  
 二十九年三月告示）で示された「思考力の芽生え」「数量や図形、標識や文  
 字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」などは、特に国語科との親  
 和性が強いものです。幼児期に培った「学び」を安心して発揮し、自立した  
 一年生へと育てていくことが、各教科における資質・能力の育成につなが  
 ります。自校の実態に応じ、できるところからスタートカリキュラムを編  
 成することが、どの学校でも急務だといえるでしょう。

# 「学習者にとって 必要感のある振り返り」とは

東京学芸大学附属  
大泉小学校教諭



つちや はるひろ  
土屋晴裕



## 二、『ぼくの世界、君の世界』（教育出版六下）の実践より

### ■単元名

自分の意見を記録しながら、考えについて深めていこう。

### ■単元目標

#### 〔知識及び技能〕

・文章の構成や説明における論の進め方を、理解することができる。

#### 〔思考力、判断力、表現力等〕

・筆者の意見や要旨を、的確に捉えることができる。

・自分と友達の考えを比較し、共通点や相違点を整理して、自分の考えをまとめることができる。

#### 〔学びに向かう力、人間性等〕

・筆者の意見について自分はどう思うのか、意見をもとうとしている。

・積極的に友達と意見の共有ができています。

### ■単元の指導計画（全八時間）

#### 一次

第一時…全文を読み、自分が気になったところなどに注目し、それに対する自分の考えを書く。文章全体を四つのまとまりにくぎる。

#### 二次

第二時…一〜六段落までを読み、「自分に見えているものが他の人にも同じように見えている保証はない」という筆者の考えについて、自分の考えを書く。

第三時…七〜十三段落を読み、「人と人は永遠に理解し合えないのか」という筆者からの問いに対する、自分の考えを書く。

第四時…十四〜十九段落を読み、「言葉や表情のやりとりによって心を伝えたり受け取ったりする」という筆者の考えについて、自分の考えを書く。

第五時…二十〜二十二段落を読み、「自分だけの心の世界がある」「心を伝え合うための努力を始める」という筆者の考えについて、自分の考えを書く。



### 一、はじめに

私が教員になって十年経過した頃から、「学習評価」について関心をもち始めた。「振り返り」に着目し、研究を進めてきた。今年四月から全面实施される学習指導要領でも「見通し」と「振り返り」が取り上げられ、現場でもあたりまえのように、一単位時間や一単元の終わりに「振り返り」という時間が設けられている。

多くの教室で振り返りが行われていること自体はよいことだが、形骸化したり、何のためにやっている振り返りなのかかわからず学習者のためになっていなかったりと、問題点もあるように感じている。

そこで今回、令和元年度に行った実践を紹介しながら、「学習者にとって必要感のある振り返り」について考えていきたい。



ぼくの世界 君の世界

### の考えの足跡

★第一時間目 一 段落 三 段落 (十月一日)

この話を読んで、筆者の気持ちがよく分かった。私も作者と似た経験をしました。友人とテストの話をして、少し難しく感じた。話を聞いて、友人は自分と違う程度や痛みの程度があると思いましたが、深く、この話を学習して、よかったと思います。

★第二時間目 一 段落 六 段落 (重複段落) (十月二日)

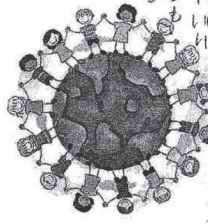
私も作者と似た経験をしました。友人とテストの話をして、少し難しく感じた。話を聞いて、友人は自分と違う程度や痛みの程度があると思いましたが、深く、この話を学習して、よかったと思います。

このお話で、キーワードの自分の気持ちを強く勉強して、いろいろな世界について、考えた。友人は自分と違う程度や痛みの程度があると思いましたが、深く、この話を学習して、よかったと思います。

★第三時間目 一 七 段落 三 段落 (重複段落) (十月三日)

筆者は、自分の感じていること、他の人の感じていること、仲間間で、いろいろ保証はどこにもない、考えていて、私も同じように思いました。普段の会話の中で、いろいろな程度や痛みの程度があると思いましたが、深く、この話を学習して、よかったと思います。

このお話で、筆者の気持ちがよく分かった。私も作者と似た経験をしました。友人とテストの話をして、少し難しく感じた。話を聞いて、友人は自分と違う程度や痛みの程度があると思いましたが、深く、この話を学習して、よかったと思います。



### 三次

第六時：ポートフォリオ（資料1）をもとに、自分の考えを振り返る。

第七時：前時で振り返ったことを生かして、友達と意見を共有する。そのうえで、自分の考えを発表する。

第八時：単元全体を振り返る。

### ポートフォリオ導入のきっかけ

「読むこと」の指導事項の「考えの形成」の力を育成することをねらい、ポートフォリオを導入することを試みた。

本学級の子どもたちは、休み時間には友達と積極的に言葉をとおしてコミュニケーションを図ることができているが、授業中はおとなしく、自分の考えをもっているのかもっていないのか、反応が薄く、授業はいつも同じ子どもたちが発言して進んでしまう状態だった。

そこで、自分の考えをしっかりとたせるための方法を模索した。また、一時間ごとに自分の考えをもつだけでなく、自分の考えの履歴がわかったり、考えの変容をつかんだりしやすいように、一枚のものを考えた。それを、本単元では「ポートフォリオ」と呼び、子どもたちと共有した。

### ポートフォリオを用いる意義

毎時間、考えの記入をさせるために、一単位時間である四十五分のうち、一斉授業は四十分程度で終えて、自分の考えをまとめ、このポートフォリオに記入する時間を五分程度確保するようにした。話し合いの時間は少し少なくなってしまったが、その分、自分と向き合う時間が増え、自分の学習をしっかりと振り返ることができた。中学生以上になると、家庭学習は「予習・復習」があたりまえになるが、小学生の子どもたちは、まだ予習・復習の習慣はなく、授業の中で復習の時間を確保することが重要ではないだろうか。

このポートフォリオは、個人の一時間の学習を復習する役割もあったが、その一時間ごとの振り返りが蓄積されていくため、前時の学習を振り返って本時の学習に生かしたり、単元全体の学習の復習をしたりするとい

う要素も兼ねていた。そのため、第六時の学習では、自分のポートフォリオを見直して、自分の考えの変容をつかみ、その変容が生まれた理由を自己分析することもできた。

どう振り返るか

ポートフォリオを用いる意義は子どもたちも実感していて、資料2の単元全体を振り返るシートの記述で、実態をつかむことができた。この単元全体を振り返るシートでは、学習方法について子どもたちに「効果があったか」を問い、どの程度だったのか、星印に色塗りをさせて、その評価にした理由を文章で記述させるように、ワークシートを作成した。

「振り返り」というと、「今日の授業でわかったことを書きましよう。」

「今日の授業では、どのくらいがんばりましたか？」と、その振り返りがどのように生かされるのか、よくわからないものが多い。「わかったこと」を書かせれば、子どもにとっては復習になり、教師にとってはきちんと理解できたのかがかかめるのだが、それはあくまで「今日の授業で」のことなので、前の時間や次の時間との関連が見えない。また、「がんばったこと」を書かせると、子どもたちの多くは、「発表がたくさんできた」「友達の話をしつかりと聞いた」と態度面を記入する。そこが大事ならばよいのだが、いつも同じような記述になり、振り返りの形骸化につながる。

そうならないためにも、「授業をとおして、筆者の○○○という考えに對して、どのように考えているか」という内容面について書かせるといい。振り返りは、次時や単元後半に生きていく、よい振り返りになる。

また、一枚にまとめたことも意味があり、自分の考えの履歴をすぐにつかむことができ、変容、または変わっていないということも、自己分析できる。自分の学びをメタ認知できることは、これからの教育でとても重視されるべきものである。

実践をとおして

改善すべき点をあげる。このポートフォリオでは、考えの変容がつかみやすく「思考・判断・表現」の評価には用いやすい一方で、「主体的に学

資料 2

国語の探究『ばくの世界、君の世界』学習全体の振り返り

Q1 ポートフォリオを使ったことについて  
六年( )組 ( )番 名前 ( )  
毎回、自分の考えを書いてためていったことが、学習の広がりや深まりに効果があったか？



ポートフォリオを毎日書いたことで、今の考えと前の考えかどのくらい変わ、たのか短い文章でまとめられているので、すぐに見ることができて分、かりやすいと思いました。また、その文章を見て、自分かどのくらい学習を理解しているのか分かると思います。例えば、ポートフォリオに疑問点を書いておけば、次の時にそのことについてきちんと考え、られ、自分の考えか広がると思います。さらに、自分の学習方法か生かされ、考えを深めたり、広げることによって役立、つと思えました。

Q2 文章全体を四つに分けて学習したことについて  
今回の四つの分け方で学習したことが、自分の考えの広がりや深まりに効果があったか？



そのように学習したことによって、文章の構成か分かりやす、たかと思えます。なぜなら、文章全体を分けず、最初から最後、まで一度に何回も学習するより、文章を四つに分けてからそ、の二つを順番に学習することによって、文章の内容かよく分、か、たからです。また、分けたことで、段落と段落の関係かま、く分、かり、整理しやすくな、って自分の考えを、は、きり、させる、こ、と、か、でき、まし、た。

Q3 最後の学習で、先生が決めたグループで交流したことについて  
このグループで(二回とも)学習したこと、自分の考えが広がり深まったりしたか？



先生か決め、たグループには同じ意見や違う意見の人かいて、その、人、と、ち、と、交、流、し、る、こ、と、に、よ、り、自、分、と、他、の、人、の、意、見、を、比、べ、し、て、見、て、共、感、し、たり、反、対、の、意、見、を、言、た、り、す、る、う、ち、に、自、分、の、意、見、を、は、き、り、せ、せ、る、こ、と、か、でき、る、と、思、い、ま、し、た。また、最初か相手と、反、対、意、見、だ、た、け、れ、ど、相、手、の、考、え、を、聞、き、し、その、意、見、を、理、解、し、て、見、方、が、変、わ、り、自、分、の、意、見、か、広、が、る、と、思、い、ま、し、た。さら、に、同、じ、意、見、の、人、と、話、し、自、分、の、意、見、に、自、信、が、持、た、た、り、何、度、も、質、問、を、くり、返、す、こ、と、に、よ、り、自、分、の、意、見、に、つ、い、て、の、新、し、い、考、え、か、生、ま、れ、自、分、の、考、え、が、深、ま、る、と、思、い、ま、し、た。

習に取り組む態度」の評価事項としては生かしくい。「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時、子どもたち自身がいかにかこの学習に本気で取り組んだかを、教師は知る必要がある。授業中であれば、挙手や発表の回数、友達との交流活動に積極的に取り組んでいたかなど、目に見える部分で評価することは可能である。しかし、目に見える部分だけが「主体的に学習に取り組む態度」かといったら、そんなことはない。友達の前でもものおじすることなく発言できる子どももいれば、ノートに一生懸命自分の考えを書くのが得意な子どももいる。

そこで、子どもたちの内言を拾い集めることが必要ではないだろうか。その時にびったりのものとして、振り返り（自己評価）があると思う。振り返るという行為自体が、自分のありようを整理・分析するというもので、そのうえで紙に書き残すことで、各自に強く意識化され、有意義な振り返り活動となる。つまり、内容面と態度面の両方をこの用紙に書けるのが理想だった。上段・下段に分けて、例えば、上段に内容面の振り返り、下段に態度面の振り返りとするのはいかがだろうか。

二つめの改善点としては、この用紙の使用者が「個人」に限定されている感が強いということがあげられる。「自分の考えは？」という問いかけに対し、そのまま書かせたのでは、「○○さんと関わって」や「○○君の意見を参考にして」など、振り返りに友達の名前は出にくいだろう。振り返りにおいても、教師のはたらきかけが重要であり、それにより、他者との協同的な学びのなかで個人の考えが構築されていくのではないだろうか。

### ノートとワークシート

ここで、国語科の授業における「ノート」と、このポートフォリオも含めた「ワークシート」の関係も話題にしたい。ほぼ全教科、学習用具として教科書とノートがあり、ノートには自分の意見を書いたり友達の考えを書いたりする。教師が板書したことも整理しながら書き写すことで、学習履歴がきちんと残り、次の時間の学習に生かしていくこともできる。ノートは罫線（もしくはマス）が書かれているだけなので、子どもたちが書い

ていく時に自由度が保障され、「自分のため」になるノートを作ることができる。

一方で「ワークシート」は、そこに教師の意図が入っている場合が多い。こういう内容を書かせたい、この枠の中で書かせたいという意図をもって、教師はワークシートを作成する。資料1のポートフォリオも、枠の大きさを決め、特に二時間めの学習では、子どもに、一時間の授業中に二回、筆者の考えに対する自分の考えを書くよう求めた。しかし、時間的な制約、また子どもの思考の流れによって、最終的には一回書くだけになった。資料1で示した児童は、教師の求めに応じて二枠を上手に使っていたが、多くの児童は一枠が完全に空欄になっていた。



### 三、おわりに

今回、「学習者にとって必要感のある振り返り」をテーマに研究を進めてきた。子どもたちは一日に六時間程度、一時間ずつ違う教科の学習を行っている。そういう子どもたちにとって、その授業についてまとめておくことは、とても意味のあることだ。そして、復習にもなる。ワークシート（ポートフォリオ）に考えていたことを残しておくことは、学びをつなぐためのツールとしてぜひ、今後も活用していきたい。しかし、それは「ノート」が担うものなのかもしれない。ノートを見返すという習慣がついていれば、わざわざ一枚の紙に書き残していなくても、子どもたちは学びを進めていくことができる。

それでは……と考えたのは、ノートは「内容面」、ワークシートで「態度面」の学びの履歴を残すということだ。両方が混在したノートは見にくい。使い分けが明確にされることを考えれば、そこに学習者にとっての必要感が生まれるのではないだろうか。今後の課題として実践してみたい。

# 「UDフォント」と伝わるレイアウト術

「書写の教科書には、読み手に内容がわかりやすいポスターにするためにレイアウトの大切さを教える教材がある。ここで示されているポイントは、先生がたがクラスだよりの小テスト、運動会プログラムなど情報を伝えるための資料をパソコンで作ることも通じる」と、前回の『ことばだよ！』二〇一九年秋号で記した。書写では、上下・左右の余白をあげる、題名は目立つように文字を大きくする、筆記用具を工夫して書く、などがポイントとしてあげられているが、パソコンで作るときには具体的にどんな点に注意をしたらよいのだろうか？

レイアウトを考えるときには、まずその目的と伝えたい内容を整理する必要がある。物語のように文字だけでじっくりと読ませるのでなく、短い時間で伝えたいことを読み手がキャッチできるような工夫が必要だ。対象者は誰なのか？ 目的は何か？ を意識しながら、テキスト

Before

5-2

令和元年 5月7日発行

## 学級通信

No.21

### 運動会 必勝 大作戦！

いよいよ春の運動会が近づいてきました!!! 5年生はクラス対抗の大縄跳びの競技があります。2組のみんなもやる気は十分です。大縄跳びは、クラスの子・チームワークと掛け声が大切です。みんなで協力し、楽しく一丸となって、上位を目指して頑張りましょう。大縄跳びのコツと、練習日・練習場所をお知らせします。

#### ▶ 学級会でリーダーと縄を回す人を決める

リーダー(2名): みんなでタイミングを合わせる声掛けや、みんなが跳びやすい並び方を確認し、みんなをまとめる人に決めます。

縄を回す人(4名): 縄は腕だけで回すのではなく、腰を落として体全体を使って大きく回します。みんなと息を合わせてリズムよく回す体力のある人に決めます。

#### ▶ 大縄跳びのコツ

- ✓ 疲れない跳び方⇒膝を曲げ過ぎず、姿勢を正しく、跳んだ所に落ちるように
- ✓ 大縄の回し方⇒足は大きく開き、片方の足を少し前に出し、踏ん張るように立つ
- ✓ 縄がたるまないように、少し引っ張りながら回す
- ✓ 跳ぶ人の並び方⇒縄に近い人は背が低く高くジャンプできる人
- ✓ 中央は背が高く、うねる縄をうまくジャンプしてかわせる人
- ✓ 掛け声を考える⇒両端で縄を回す人同士息を合わせる掛け声
- ✓ 跳ぶ人たちのタイミングを合わせる掛け声



～練習日のお知らせ～

日付	5月15日 (金) 夕方4時	5月16日 (土) 昼1時半	5月18日 (月) 夕方4時	5月20日 (水) 夕方3時	5月21日 (木) 夕方4時
練習場所	体育館	サッカーゴール前	ジャングルジム前	体育館	サッカーゴール前

※ 体育館の練習のときは、体育館履きを忘れない様に

#### ▶ 困ったときはみんなで考えよう！

- ◆ 相手との間隔が近すぎず離れすぎないようにするにはどうしたらよいか？
- ◆ いつも引っかかってしまう友達がうまく跳べるようになるにはどうしたらよいか？



株式会社モリサワ  
営業企画部 公共ビジネス課  
高田 裕美

文字やイラスト、図版などを配置する基本領域を「版面」(はんめん、はんめん)と呼ぶが、紙面に対して版面が小さく余白が大きいと、高級感、すっきり感、静寂が生まれ、版面が大きく余白が少ないとカジュアル感、充実感、にぎやかさが生まれる。高級ブランド店と

余白をうまく使って、版面を整える

【図1】。具体的なには、紙面を上品にするか、カジュアルにするかで余白の大きさが決まる。強調したい部分と補足する部分を考えると文字の大きさや太さが決まる。読み手の視線の移動を考えると行長と行間が決まる。サンプルとして、運動会のクラス練習を知らせる学級通信のBeforeとAfterを作り、気をつけるポイントをいくつかまとめてみた

トなどのコンテンツをグループごとにまとめ、大まかに配置を決めていく。読み手に伝えたいポイントを強調し、補足的なものは少し控えめにしたい。説明はなるべく短く箇条書きにする。文字情報だけでなく、イラストや図版、写真を入れるとわかりやすく印象に残りやすい。ほどよく息ぬきできる余白も大切だ。

Before

版面 点線枠内

【図2】版面

※例外として効果的に見せるために版面からはみ出す技法もあるが、基本的には文字や図版などは版面の中にバランスよく配置する方がすっきり見える。

After

令和元年 5月7日発行

5年2組  
学級通信 No. 21

運動会 必勝(秘)大作戦!

いよいよ春の運動会が近づいてきました！ 5年生はクラス対抗の大縄跳びの競技があります。2組のみならずやる気は十分です。大縄跳びは、クラスのチームワークと掛け声大切です。みんなで協力し、楽しく一丸となって、上位を目指して頑張しましょう。大縄跳びのコツと、練習日・練習場所をお知らせします。

学級会で「リーダー」と「縄を回す人」を決める

- ◇ リーダー (2名)： みんなでタイミングを合わせる声掛けや、みんなが跳びやすい並び方を確認し、みんなをまとめる人
- ◇ 縄を回す人(4名)： 縄は腕だけで回すのではなく、腰を落として体全体を使って大きく回します。みんなと息を合わせてリズムよく回す体力のある人

大縄跳びのコツ

- ✓ 疲れな跳び方 ⇒ 膝を曲げ過ぎず、姿勢を正しく、跳んだ所に落ちるように
- ✓ 大縄の回し方 ⇒ 足は大きく開き、片方の足を少し前に出し、踏ん張るように立つ。縄がたるまないように、少し引っぱりながら回す
- ✓ 跳ぶ人の並び方 ⇒ 縄に近い人は背が低く高くジャンプできる人。中央は背が高く、うねる縄をうまくジャンプしてかわせる人
- ✓ 掛け声を考える ⇒ 両端で縄を回す人同士の息を合わせる掛け声。跳ぶ人たちのタイミングを合わせる掛け声

～練習日のお知らせ～

日付	5月15日(金)	5月16日(土)	5月18日(月)	5月20日(水)	5月21日(木)
	夕方4時	昼1時半	夕方4時	夕方3時	夕方4時
練習場所	※体育館	サッカーゴール前	ジャングルジム前	※体育館	サッカーゴール前

※ 体育館の練習のときは、体育館履きを忘れない様に

困ったときは、みんなで考えよう！

- ◆ 相手との間隔が近すぎず離れすぎないようにするにはどうしたらよいか？
- ◆ いつも引っかけたってしまう友達がうまく跳べるようになるにはどうしたらよいか？

【図1】 BeforeとAfter

ぎわう商店街にある店の空間の取り方を思い浮かべてみると、紙面の余白と通じるものがあるだろう。

また、版面から文字やイラストなどのコンテンツがはみ出したり、コンテンツが版面の上部に片寄ったりしていないだろうか？ お便りや報告書の版面が凸凹しているとだらしのない印象になる。版面の中にバランスよく配置できていることで、すっきりと整理された印象になる【図2】。

**書体はなるべく加工せずにそのまま使用し、意味なく種類を使い過ぎない**

Windows 10には、私がデザインに携わったユニバーサルデザイナー対応のフォント5種が標準搭載されている【図3】。UDデジタル教科書体（2種）以外に、BIZ UD明朝（1種）とBIZ UDゴシック（2種）である。UDフォントは、読み間違いが起らないように一文字一文字が判別しやすく、小さなサイズの使用でも文字が潰れにくく、明るさを保つための工夫がいろいろと施してある。濁点・半濁点を少し大きめにし、親文字に接しないようにデザインしているのは代表的な工夫の一つである【図4】。

しかしながら、WordやPowerPointには書体に影をつけたり立体に加工したり、斜体や縦長に変形したりと、簡単にできる機能がある。つい楽しくて使いがちな機能だが、せっかくのフォントの読みやすさを台無しにしている例もよく見かける。読みやすさを考えて、書体はなるべく加工せずにそのまま使ってほしい。また本文に明朝・ゴシック・丸ゴシックと意味もなく多くの書体を使用するのは

UDデジタル教科書体 R/B

教育シーンで効果を発揮する  
教育シーンで効果を発揮する

BIZ UD明朝 Medium

教育シーンで効果を発揮する

BIZ UDゴシック Regular/Bold

教育シーンで効果を発揮する  
教育シーンで効果を発揮する

【図3】 Windows 10 標準搭載フォント

サインに使用される一般的なゴシック体

8S6 I711 ゴプ象

BIZ UDゴシック

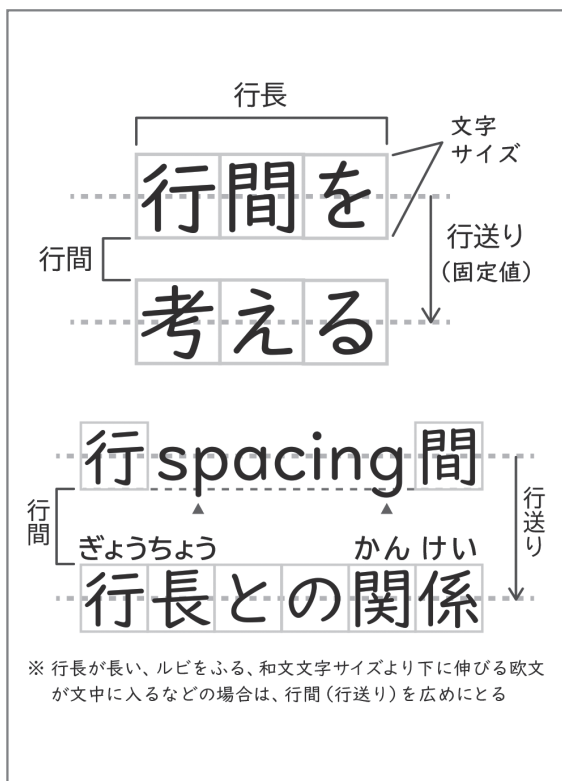
8S6 I711 ゴプ象

【図4】 UDフォントのデザインの工夫

は乱雑な紙面になり、読み手がその変化の意味を無意識に探して戸惑ってしまう。一つの紙面に使う書体の種類は抑え、まとまりある紙面を心がけよう。

**紙面の強弱は文字の大きさやウエイト(黒味)の変化を使う**

では、強調したい部分の変化をどうつけるのか。子どもたちはポスターを書くときに、タイトルを太めのフェルトペンで大きく、見出しを中太のサインペンを使い、本文を細いサインペンやボールペンを使って書く。パソコン制作でも同じように、内容によってフォントサイズを少し大きくしたり、本文に対して見出しのウエイトを



【図5】行間・行送り(固定値)・行長

## 行長と行間のバランス

あげたりして変化をつける。例えば、本文を regular にしていたら、見出しは bold にするなど、同じ書体でも黒味の強弱がつけられる。補足部分は文字サイズを下げると直観的に紙面に大ききの強弱が出てむしろ読みやすくなる。

また、明朝とゴシックなど書体の種類を変える場合は、見出しと本文とで変化をつけたい場合、お便りの挨拶と要件、テストの本文と設問、模範解答用紙の設問と答えなど内容の違いを直観的に見せたい場合に、読み手が無意識にその変化の意味をわかるようにしよう。

文字と文字の間を行間と呼び、文字の中央から次の行の文字の中

央までの移動値を行送り<sup>\*2</sup>と呼ぶ【図5】。行間には、行末から次の行の行頭へと視線の移動を助ける役割がある。文字が並ぶ長さを行長というが、一行12字前後の新聞を見てもわかるように、行長が短いときは行間が狭くても視線の移動が可能だが、一行40字以上になる行長の長いお便りなどは視線移動に適切な行間がないと同じ行を何度も読んでしまったり、行をとばして読んでしまったりしやすくなる。長文を読むテストなどでは、行間が不適切なことが、子どもたちの理解や点数に影響しているかもしれない。さらに行間にルビをふる、「p」や「g」など下に伸びる欧文が文中に入る場合などは、それも考慮して行間を広くとる必要があるだろう。

レイアウトは、読み手にわかりやすく伝えるためのテクニクであり、相手の立場になって伝わりやすくするための優しい配慮である。UDフォントに変えるだけでは十分な配慮にはならない。目的に応じた適切なフォントの選択とレイアウトを意識して、教育現場での紙面のユニバーサルデザイン化をぜひ実現してほしいと願う。

\*1.. Wordでは印刷設定の「ユーザ設定の余白」で設定できる。

\*2.. Wordでは行間設定の「固定値」のことで、文字サイズ×行間サイズで計算できる。

※本コラムの本文は、UDデジタル教科書体を使用しています。

株式会社タイプバンクでタイプデザイナーとして三十二年間勤務。DTPをはじめテロップ、成分表示、新聞など、さまざまな分野の書体を手掛ける。十数年前から「BIZ UD明朝/ゴシック」の元となる「TB UD書体シリーズ」UDデジタル教科書体のチーフデザイナーとして企画制作を経て、現在は株式会社モリサワにて、教育現場における書体の重要性や役割を普及、推進する課に所属。先生方や教育委員会向けのセミナーやワークショップ、教育関係の小冊子や学会誌に執筆など広く活動している。



第18回

# 地球となかよしメッセージ

## 作品募集 (2020年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、  
写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に  
参加賞が  
もらえるよ!

応募資格 小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)

応募期間 2020年7月1日～9月30日  
詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。

- 作品テーマ
- ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み
  - ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること
  - ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

©主催/教育出版  
©後援/環境省、日本環境協会、日本環境教育学会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞 \*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



教育出版

「地球となかよし」事務局

前回  
入選作品



### 旅するタネ

旅するタネは鳥にふわりと乗った。  
下車したところは、道路。  
名を「どこんじょうトマト」に変え、今年の暑い夏を乗り切った。  
その赤い実は熟し、よい香りが漂う。そして、私の口へコロリと入り、体中を旅する。  
つながる命、つながる世界。トマトの力強い生命力で私は元気になっていく。(小学4年)

小学国語通信 ことばだより [2020年 春号] 2020年3月31日 発行

編集:教育出版株式会社編集局 発行:教育出版株式会社 代表者:伊東千尋  
印刷:大日本印刷株式会社 発行所:教育出版株式会社  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (内容について)  
URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/> 03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- |       |  |
|-------|--|
| 北海道支社 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル6F<br>TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509       |
| 函館営業所 | 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング3F<br>TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-51-0198               |
| 東北支社  | 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル7F<br>TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395      |
| 中部支社  | 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル5F<br>TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825        |
| 関西支社  | 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル7F<br>TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401           |
| 中国支社  | 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル5F<br>TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040 |
| 四国支社  | 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル5F<br>TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134                |
| 九州支社  | 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡E室<br>TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140         |
| 沖縄営業所 | 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル3F<br>TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411                   |

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり、配布を許可されているものです。